

科目名	道徳教育の指導法		担当教員	河合 宣昌	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2EPG201
期待される学修成果	教科教育 態度				
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験	元校長、元全国小学校道徳教育研究会副会長				
実務経験を生かした授業内容	全国の道徳科の授業の指導の現状や子どもの実態をふまえた具体的な指導（模擬授業、指導案作成、体験的な学習等）				
到達目標及びテーマ	<p><到達目標>よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の在り方を理解するとともに、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育とその要である道徳科の授業の実践的指導力を身につける。</p> <p><テーマ>道徳教育とは何か、道徳科の授業はどうあるべきか</p>				
授業の概要	道徳教育及び道徳科についての文部科学省の考え<道徳科の特質や「考え、議論する」>を紹介しながら、小中学校での道徳科をどう構想し展開するかを具体的な実践をもとに、理解を深める。児童生徒に道徳を指導するためのスキルを身につけることとあわせて、私たちが教師として、人間として「道徳的に生きる」ことの意味について探っていききたい。				

授業計画	
第1回	道徳科になったのは（道徳教育の変遷）道徳教育と道徳科の目標 <教科書Q1～Q3>
第2回	道徳教育及び道徳科の内容（学習指導要領に示されている内容） <教科書Q4～Q10>
第3回	道徳科の基本的な指導過程 <Q12～Q20>
第4回	模擬授業を通して道徳科の指導の理解 * 授業設計
第5回	教材分析（いじめ、情報モラル等） <Q21～Q28>
第6回	導入と教材提示の工夫 <教科書Q29～Q40>
第7回	人間理解（多様な指導方法） 模擬授業 <教科書Q41～q62>
第8回	価値理解（多様な指導方法） 模擬授業 <教科書Q70～Q74 Q113～Q118>
第9回	道徳科のねらいの自己を見つめる <教科書Q75～Q96>
第10回	ねらいを明確にした学習活動と本時のねらいの書き方 <教科書Q11 Q111～Q130>
第11回	構造的な板書 模擬授業 <教科書Q63～Q69>
第12回	学習指導案の作成1（小学校）
第13回	学習指導案の作成2（中学校）
第14回	道徳教育の全体計画、道徳科の年間指導計画、道徳性の発達の理論とその応用
第15回	道徳科の評価のねらいと具体的な記述の理解 <教科書Q134～Q146>

事前学修	2時間	前回までに配付された資料や教科書を熟読し、授業の内容を理解しておく。また、課題レポート（学習指導案の作成、板書の作成）については、前回までの資料を参考にして前もって準備し、当日すぐ取りかかれるようにしておく。
------	-----	--

事後学修	2時間	与えられた資料や教科書を読み返すなどして、講義の内容をしっかりとつかむ。また、課せられたレポートについては、次回の講義の日までに提出できるようにしておく。
フィードバックの方法	毎回の講義の最後に、講義で学んだことをワークシートに記述させ、コメントを書いて返却する。これをもとに総合評価をする。	

成績評価方法	割合 (%)	評価基準等
レポート	100%	講義のねらいにそって、具体的に記述されていたり、自分とのかかわりで記述されているか
定期試験	0%	定期試験は実施しない
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
知りたいことがきっとわかる 道徳教育Q & A	河合宣昌	日本文教出版	978-4-536-60105-4	授業で常時活用
参考資料	文部科学省「小学校学習指導要領解説 文部科学省「中学校学習指導要領解説	特別の教科 道徳編」 特別の教科 道徳編」		